

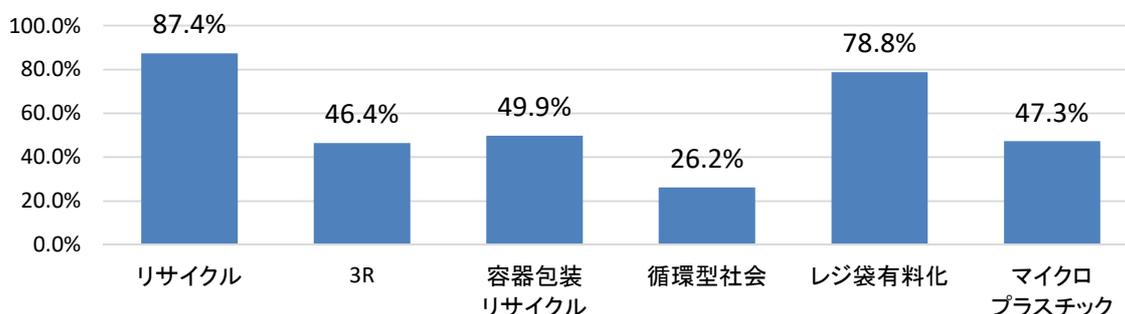
# 全国ごみ市民アンケート調査結果

## 2020年「コロナごみ・レジ袋有料化」

NPO 法人環境安全センターでは、循環型社会に向けた政策提言や調査を行っています。

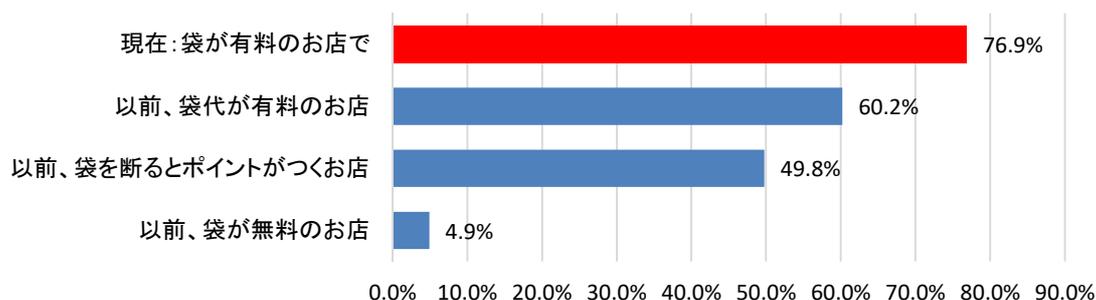
2020年11月に、全国の市民を対象にインターネットアンケートを実施しました。その概要です。正式な報告は2020年度末に発表します。(回答数 1,193 件)

### ■ 次のことばを聞いたことがありますか？



「3R」や「循環型社会」はまだ定着していないようです。地域ごとは有意差なく、全般的に高齢者ほどよく知っています。学校教育の成果か、「3R」は20代以下が高く、「リサイクル」と同じくらいになっています。

### ■ レジ袋をもらわない人の割合。現在(有料化後)と、有料化前の比較

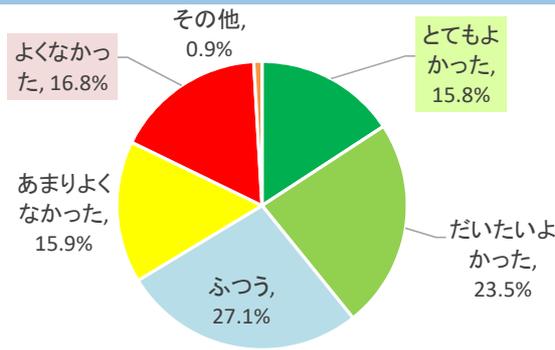


以前から、有料配布していたお店では約6割が断っていましたが、全国一斉の取組みで、より定着しています。地域ごとは有意差なし、年代ごとでは50代以上が有料制度に敏感に反応しています。

### ■ 以前もらったレジ袋はどうしていましたか？

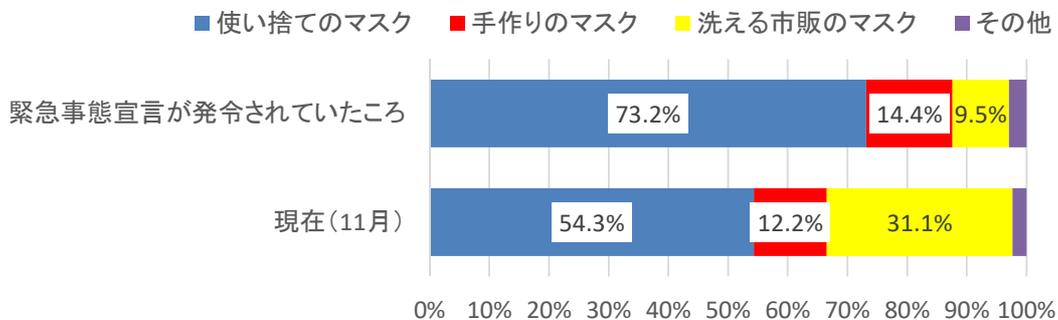
「家のごみ箱にかがせて、ごみを捨てる時の小袋として利用した」のが70.7%など、活用していた人が多く、「そのまま捨てていた」人は5.5%でした。地域的には、「他人にもものをあげるときに袋として利用した」人の割合は、甲信越・北陸地域が高くなっています。

## ■レジ袋の有料化はよかったですか



賛否が大きく分かれており、今後の議論が必要になりそうです。地域での有意差はありませんでした。

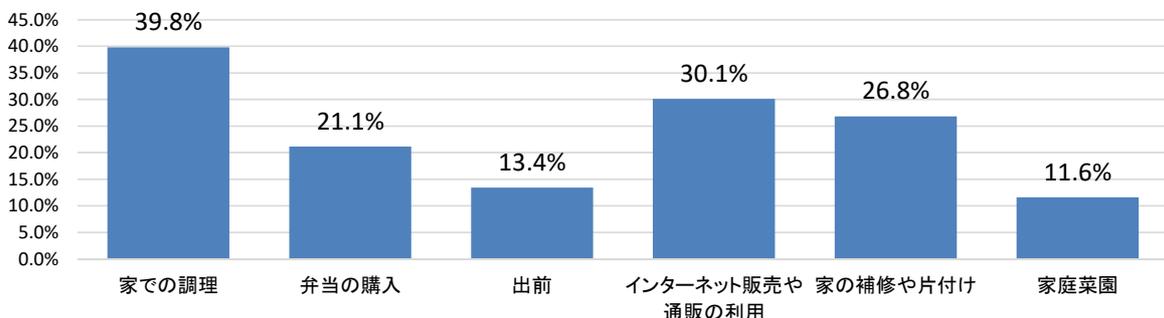
## ■主にどのタイプのマスクをお使いですか



「使い捨てのマスク」(素材はポリプロピレンの不織布)の割合が高く緊急事態宣言時は 73.2%、現在は減少して 54.3%の人が主に使っています。「市販の洗えるマスク」が増えています。「手作り」は現在でも 12.2%の人が主に使っています。

「洗って使っているか」尋ねたところ、現在 10 回以上洗って使っている人が、22.9%いました。年代別では 50 代が洗って使う傾向がみられました。

## ■緊急事態宣言時に、食事や生活に変化はありましたか（「とても増えた」「少し増えた」人の割合）



「家での調理」や「インターネット販売や通販の利用」、「家の補修や片付け」などが増えています。地域別の特徴がみられたものとしては、大阪は「出前」、東京は「インターネット販売・通販」、愛知は「家庭菜園」が目立ちました。

NPO 法人環境安全センター  
URL: <http://gomi.tank.jp>